

SDGs/ESGへのこれまで

〈ひろぎんグループ〉は、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、付加価値の高い地域総合サービスの提供を通じて、地域の社会・環境課題の解決と持続的な成長に貢献してまいります。

2019年7月

統合報告書を発行

2010

E

nvironment

環境

2010年～

「ひろぎんの里山」における植樹・整備活動

郷土の豊かな自然環境の保護に向け、「ひろぎんの里山」において、役職員による苗木の植樹・森林整備活動を実施。



地方銀行64行が加盟する「日本の森を守る地方銀行有志の会」に設立当初から参加。

2018年～

S&P/JPX

カーボン・エフィシエント指数に選定



2016年4月

せとうちDMO※への参画

クルーズ船の造船や、古民家の宿泊施設等への改修等、観光関連事業者のプロダクト開発や事業拡大を支援。

瀬戸内地域の
観光産業活性化に向け、
連携を強化。



※ DMO：観光地を活性化させ、地域全体を一体にマネジメントしていく法人

2017年～

MSCI日本株女性活躍指数に選定

2018年2月

私募REITの組成

2018年10月

瀬戸内ブランドコーポレーション※が
ヒルトンホテルの運営受託契約を締結

※ 瀬戸内ブランドコーポレーション：広島銀行を含む19の金融機関と27の事業会社が出資する法人

2019年2月・2020年3月

健康経営優良法人に選定

G

overnance

ガバナンス

2015年6月

社外取締役(女性)1名選任
取締役会の員数削減・任期1年化

2015年12月

指名・報酬諮問委員会の設置

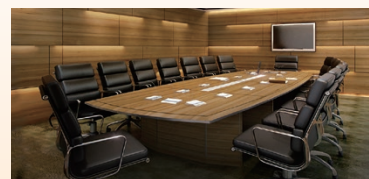
2016年6月

社外取締役1名増員

2017年6月

取締役・執行役員に対する株式報酬制度の導入

役員報酬と広島銀行株の連動性を明確にし、広島銀行の中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意識を高めることを目的として導入。



の取組み

2019年9月

〈ひろぎんグループ〉SDGs宣言の公表

付加価値の高い金融サービスの提供を通じて、地域の課題解決と持続的な成長に貢献していくため、2019年9月に〈ひろぎんグループ〉SDGs宣言を公表しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2020

2019年2月～

〈ひろぎん〉無通帳口座“スマートe”取扱開始

2019年9月

グリーンボンドへの投資

独立行政法人住宅金融支援機構が発行する「住宅金融機構グリーンボンド」の購入。

→「省エネルギー性能の高い住宅」の更なる普及に寄与



2020年3月

TCFD提言への賛同を表明

気候変動に関する対応強化および気候関連のリスク・機会に関する情報開示の充実に向け、賛同を表明。

気候関連財務情報開示タスクフォース



2020年8月

「環境・社会課題の解決に向けた投融資方針」の公表

2021年2月（予定）

環境に配慮した「新本店ビル」竣工

2019年5月

広島オープンアクセラレーターの募集開始



2019年9月

ESG金融促進事業への採択

2020年1月

SDGs取組支援サービスの取扱開始

お取引先のSDGsへの取組状況を確認し、その結果をフィードバックするとともに、各社専用の“SDGs宣言”の策定を支援。

● 取扱件数（2020年1月～9月実績）105件

2020年4月

広島大学初の認定ファンドへの出資

広島大学をはじめとして、広島県内の大学が有する研究シーズを起点とするベンチャー企業を支援するファンドへの出資。

2020年7月

ひろぎんキャピタルパートナーズによるファンド組成（事業再生・事業承継・ベンチャー）



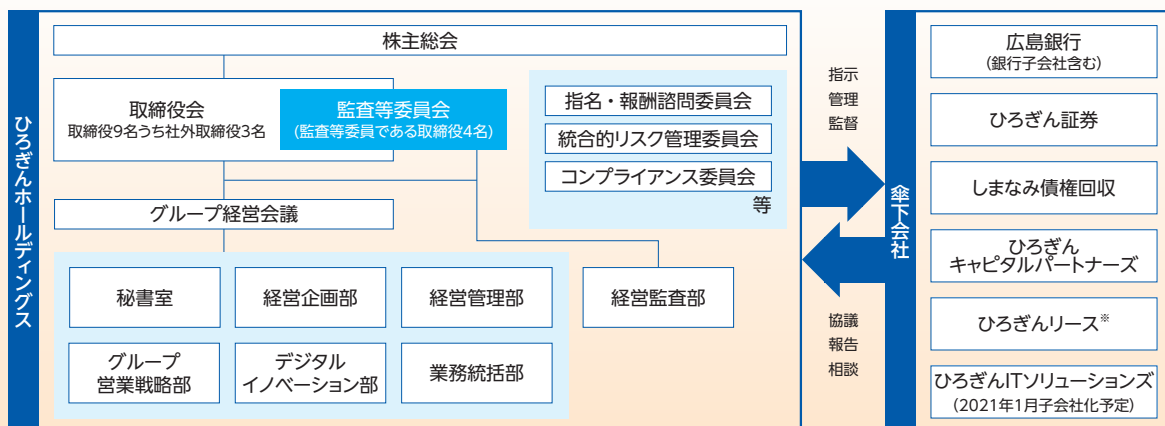
2020年7月

Fuku-Biz、Hi-Bizと「業務連携・協力に関する覚書」締結

2020年10月

持株会社体制へ移行

ひろぎんホールディングスを監査等委員会設置会社とし、ガバナンスの強化・迅速かつ効率的な意思決定を図るとともに、経営管理・監督に特化させることにより、実効性の高いグループガバナンス体制の構築を実現。



※ 持分法適用関連会社